

「角筈地区安全マップ」が完成しました!

今年度に、安全安心を考える分科会で取り組んでいた「角筈地区安全マップ」がついに完成しました! 西新宿小学校のPTAの皆さんや、地域の多くの方々の協力のもとに出来上がったものです。メインの「ピーポ110ばんのいえ」の一覧表を始め、「角筈地区の主な医療機関」、「資源回収場一覧表」など、地域で役立つ情報満載のマップとなっています。小中学校の生徒さんにお配りするほか、角筈特別出張所でも配布しています! このマップを元に、ご家族で地域の安全・安心について話してみませんか?



まちづくりのアイデア満載!

3月2日(火)に、まちづくり分科会主催で「工学院大学大学院都市デザインスタジオとの協働発表会」が開催されました。今年度は「西新宿四丁目エリアの密集地域のまちづくり」についての研究発表でしたが、学生の皆さんの様々なアイデアは実際に住んでいる地域の人たちも興味津津! 教授を交えた質疑応答や精密なパネル展示などもあり、盛りだくさんの内容で発表会は終了しました。



注目! ゴミの収集方法が変わります!

平成22年4月から、「不燃ごみ」が月2回の回収になり、名称も「金属・陶器・ガラスごみ」と変わります。「可燃ごみ」も「燃やすごみ」と名称が変わり、「スプレー缶・カセットボンベ」は資源回収することになりました。「金属・陶器・ガラスごみ」は月2回、「燃やすごみ」は週2回、「古紙」は週1回、「容器包装プラスチック」は週1回、「びん・缶・ペットボトル・スプレー缶・カセットボンベ」は週1回の回収です。今回の変更に伴い、収集曜日が変わる地域もありますので、詳しくは新宿区広報やHP、清掃事務所へお問い合わせください。



コラム 2

日本中が沸き立った冬季オリンピック・バンクーバー。繰り返し流れるTV画面のフィギア・真央ちゃんのまねをしていた2歳の孫が回転ミスで転倒し唇を切って出血(笑)。皆様のご家庭ではいかがでしたか? 1-Y

～チェンジ! 日々変わる暮らしとまちと共に～

編集後記

金融危機の影響で、今年もいまだ先の見えない不況が続き不安を感じています。地域の活動では、顔が見えて話のできる関係でありたいと願っています。日々変わる暮らしとまちの様子、思いと力をつないで地域活動では何ができるかを考えていきたいと思っています。

地域交流促進を考える分科会 武田 春子

「わいわい地域交流!」の紙面づくりにご意見・ご感想のある方、情報を掲載したい方、紙面づくりに参加したい方、大歓迎です! ご連絡をお待ちしております。次回も地域に密着した話題の予定ですので、情報をお持ちの方はぜひご連絡下さい。お待ちしております! 次回の発行は7月の予定です。

【連絡先・発行元】

新宿駅周辺地区協議会 「地域交流促進を考える分科会」事務局 (角筈特別出張所内)  
TEL: 03-3377-4381 FAX: 03-5350-2868  
E-MAIL: tsunohazu@city.shinjuku.lg.jp  
HP: http://www.city.shinjuku.lg.jp/division/262200tsunohazu/tiku\_top.htm



わいわい地域交流!

東京の中心、都庁のとなり、都会のオアシス  
私たち地域住民のコミュニケーションをここから発信しよう!!

見つけた! 歴史文化の再発見  
知ってる? わがまちのこんなこと



現西新宿五丁目にある庚申堂



鬼王神社の水鉢



前野神社境内にて撮影



新宿一板上水閣を走っていた京王線

◆見つけた! 歴史文化の再発見

- ・住宅街地区  
角筈/十二社/定機
- ・高層ビル街地区  
風の井/定機浄水場跡/碓形井  
水リサイクルセンター&新宿再生水事業所/十二社前野神社
- ・歌舞伎町地区  
コマ劇場跡/島崎藤村の旧居跡/小泉八雲記念公園
- ・駅周辺地区  
昭和37年当時の京王線/平成22年2月の新宿南口



## 住宅街地区

この西新宿界隈はもと「角筈・十二社・淀橋」という地名だった。その名についての由来は諸説様々である。「角筈」は村の地形から来たとか、名主の先祖の髪が角つぼまったからとか、熊野から十二社をこの地に勧請した正徳道士が角筈を名乗っていたからといった説がある。「十二社」は熊野神社が紀州熊野神社を勧請したときに、社の中に12の社を一層に祀る相殿としたことから「そう」と読ませたが、様々な字をあてたという話がある。「淀橋」



旧十二社池より臨む

は神田川にかかる橋の名にちなんでいとか、江戸のころ柏木村、中野村、角筈村、本郷村の四村の境界にあり、その景観が山城の国の淀に似ているため時の将軍が名付けたとも言われている。

●神託をこうこと、神仏の霊を移し祭ること



バス停に今も地名が残る



甲州街道より

# 見つけた!



コマ劇場館



島崎藤村旧居跡

## 歌舞伎町地区

雪景色の次の日、文化面を焦点に置き、史跡めぐり。

新宿には多くの文学者が住み交っている。歌舞伎町は江戸時代の頃、まだ西大久保村と呼ばれていた。歌舞伎を上演する劇場の建設計画があったことから歌舞伎町と名がついたと言う。

その界隈に住んでいた作家、島崎藤村（『破戒』『夜明け前』）の旧居跡に出会う。異文化の街大久保の路地に入って、小泉八雲（『耳なし芳一』『雪女』）記念公園を訪ねる。銅像を見て教科書に載っていたのとそっくりとK氏。近くに終焉の地という碑もある。岡本綺堂（『番長皿屋敷』『修善寺物語』、佐多稲子、金子光晴、等々。稲荷鬼王神社に参り、何か遠い人達が身近に体感出来た歴史の散策だった。封鎖されたままのコマ劇場の扉に、界隈の歴史を語る写真が印象的。



小泉八雲の銅像

①策の井(エルタワー)……都指定旧跡 徳川康が鷹狩りの場途、汚れた策を洗った井戸と伝えられている。現在は蓋がされ、モニュメントがある。



②淀橋浄水場跡(エルタワー) ここは、明治32年に設置された浄水場の正門で、この一角から新宿中央公園の東側半分を含む広大な区域が浄水場だった。



③鏡形井(住友ビル) 当時、浄水場で使われていた鏡形弁で「東京水道発祥の地」のプレートが横にある。



④水リサイクルセンター&新宿再生水事務所(新宿国際ビル地下4階) 昭和59年より落合水再生センターから運水される再生水(中水)を20箇所の超高層ビルに送り、トイレ洗浄や植栽灌水に使用している。残念ながら水リサイクルセンターは今年3月末で閉館。



⑤十二社熊野神社の池と滝(十二社熊野神社) 境内にはかつての「十二社池」と「十二社大滝」の名残の池と滝があり、中池にあったように池の中央に弁天様を祀っている。境内には「十二社」の碑もある。



# 歴史文化の再発見



昭和37年当時の京王線～昔は旧道の建物が低く、空がとっつと広いですね!



新宿南口周辺からの風景(平成22年2月)

今や、新宿駅を発着する電車は7つを数えるほどに増えましたが、ほんの50年前には、今とはかなり違う街の風景が日常でした。

懐かしい写真は、昭和37年当時のもの。人、車、電車がみな生き生きとしています。左下の写真はごく最近の姿で、約半世紀を隔てた同じ甲州街道の風景(新宿駅南口から初台方面)です。2つあったガスタックはパークタワー、パークハイアット東京へと変換しました。

手前は京王線、軌道は右方向にカーブして、西口方向の地上駅舎に向かっていました。

上の写真が撮られた翌昭和38年には新宿から初台までが地下化され、街道を横切る事による道路渋滞の改善や、徐行していた電車のスピードアップにもつながりました。東京オリンピックの開催に合わせて、新宿駅周辺も大きくその姿を変えた…懐かしい記憶が今に蘇る一枚です。

## 高層ビル街地区～水をテーマに～

## 駅周辺地区